

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	しんがくどう福岡東		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59名	(回答者数) 35名
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの特性を尊重し、適切な支援を行っている点が評価されました。また、スタッフの専門性が高く、安心して子どもを預けられる環境が整っていることも強みです。今後は、個別支援計画のさらなる充実や、新しい支援プログラムの導入を検討し、より質の高い支援を目指します。	子どもたちが安心して過ごせる環境作りを重視し、スタッフ間での情報共有を徹底しています。また、保護者とのコミュニケーションを密にし、定期的な面談や連絡帳を活用することで、家庭との連携を強化しています。さらに、子どもたちの成功体験を積み重ねるための工夫として、個別の成長を見守る仕組みを整え、肯定的な関わりを意識的に行っています。	今後は、支援の質を向上させるための研修の充実や、スタッフ間の連携をより強化する仕組み作りが求められます。また、保護者の意見をさらに反映できるよう、定期的なアンケートの実施や意見交換会の開催を検討します。加えて、子どもたちの興味関心に合わせた新しい活動プログラムの導入を進め、より充実した支援環境を整えていきます。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	今回の評価結果から、支援の個性や活動内容の幅の拡充が求められていることが分かります。特に、子どもの興味関心に応じたプログラムが十分でないと感じる保護者の声があり、活動の多様性を広げる必要があります。また、職員の負担が大きくなる場面があることも課題として挙げられ、スタッフの働きやすさの向上も重要なテーマです。	活動内容の幅が十分でない要因として、限られた人員や時間の中で日々の支援に追われ、計画的な活動の見直しが必要になりがちなのが挙げられます。また、スタッフの負担が大きくなる背景には、個別対応が増えたことで一人ひとりの支援に時間がかかる点があり、支援の質を維持しつつ業務を効率化する方法を模索する必要があります。	子どもたちの興味や特性に応じた活動プログラムの見直しを行い、より多様な体験ができる機会を増やします。また、スタッフ間で業務の分担を見直し、支援計画の作成や振り返りの時間を確保する仕組みを作ることが大切です。外部の他施設との連携を強化し、より多くの支援の選択肢を取り入れることで、支援の幅を広げていくことが求められます。
2			
3			